

学位プログラム DP レビュー

2025 年度 人間形成学科

1. 現状の説明

1) 授業実施評価レポート

成績評価アンケートの結果について学科内で検討を行った。殆どの学生が各項目で「なかった」と回答しており、全体として成績評価の透明性・客観性・妥当性・公平性は確保されていると考えられる。一方で、1年生及び3年生では、各項目で複数名が「1~2科目あった」と回答しており、3年生は1・2年次に引き続き、「1~2科目あった」と回答した者の割合が比較的高かった。この結果を踏まえ、シラバスやオリエンテーション時の説明に加え、授業中においても評価方法を再確認するなどの工夫を行うことや、2025年度の4年生には特に丁寧な説明を行う必要がある事を確認した。

自由記述では、評価方法や、試験時間に関する説明不足が推測されるものについての指摘があったため、担当教員に確認し、今後は評価方法や試験に関する説明を、紙資料やスライドを用いて複数回行うなど、学生にとって分かりやすい形で示すよう改善を図ることとなった。

成績分布について、受講者数が5名以下の科目について検討した結果、履修者数が少数となることが想定される実習科目及び廃止予定科目であることを確認した。成績「不可」が多い科目は特に見られなかった。受講者数10名を超える科目で、S評価が受講者数の3分の2を超えていた科目について、2025年度から担当者変更となる科目には、当該科目の現担当者に評価基準の共有を行い、適正な成績評価の実施を依頼することとした。また、複数学科で開講されている科目は、学科別ではなく、受講者全体で考えて評価していたことを確認した。その他の科目を含めて、改めて評価基準や評価方法を共有し、評価の適正化を図る取り組みを進めることとなった。

2) DP アンケート

全項目の平均値は4.72、最も低い項目でも4.47であったことから、4年間での学修到達度は十分であり、保育・幼児教育または心理学に関する専門的知識の習得に関して高い到達度であったと判断した。一方、57名中17名の回答しか得られなかったため、調査方法を改善する必要がある。自由記述の内容からは、授業での学びに満足していること、教員との関係が良好であることが窺えた。また、心理実習期間の延長や心理職の仕事に関する説明の充実を希望する記述が2点見られたことから検討を行った。その結果、実習機関と調整して適切に時間数を確保していること、各実習機関で実習指導者より十分に説明が行われていることを確認した。

3) 進路・資格試験・留年・退学状況

卒業者52名のうち、就職希望者34名の就職率は100%であった。就職先は、民間企業18名、社会福祉施設等4名、官公庁等4名、公立高等学校1名、公立保育所3名、私立幼稚園・保育所・認定こども園4名であった。また、進学者は13名おり、国公立大学大学院に10名、私立大学大学院に2名、私立専門学校に1名進学した。保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的人材の輩出という、人間形成学科の教育目的と合致した進路を選択した卒業生が多く、良好な結果となったと考えられる。

留年・退学状況は、退学者数は0名、留年者数は2023年度と同じく4名であった。引き続き、GPAに基づく学生支援を通して、履修状況等に課題のある学生を早めに把握し、教務部会員や学年担任、ゼミ教員等による支援を行う必要がある。

2. 2024年度対応プランの結果

2024年度は、(1)成績評価方法の説明の改善、(2)科目の必要性・妥当性の検討、という2点を実施した。(1)に関しては、成績評価アンケート結果から学生の成績評価に対する信頼は全体として維持されたことが確認できた。一方で、2024年度においても1~2年次に引き続き、3年生には課題があると回答した割合が比較的高かったことから、授業初回・最終回に加え、他の授業回においても評価方法の説明を行うこととなった。(2)を実施した結果、受講者数が比較的小さい一部の科目については廃止を決定し、計画していた見直しを実施することができた。

DPアンケートの結果については、平均値は4.72であり十分な学習到達度であったと考えられるが、回答者数が少なかったことから、調査方法の改善が課題である。また、心理実習に係る自由記述に対しては、現行の枠組みの中で適切に対応していることを確認した。

進路に関しては、民間企業に加えて、公立保育所や社会福祉施設等に就職したり、臨床心理士・公認心理師資格取得を目指すために大学院に進学したりするなど、人間形成学科の教育目的と合致した進路を選択した卒業生が多く、本学科の教育成果が表れていると考えられる。

留年・退学状況については、留年者数は 2023 年度と同数であったため、GPA に基づく学生支援を通して、履修状況等に課題のある学生を早めに把握し、教務部会員や学年担任、ゼミ教員等による支援を行う必要がある。

3. 今回の課題と対応プラン

成績評価に関しては、シラバスへの記載やオリエンテーション時の説明に加えて、授業中においても成績評価の方法を再度確認するなどの工夫を行うこととする。成績分布については特に問題は見られないものの、改めて評価基準・評価方法を共有し、評価の適正化を図る取り組みを行う。

DP アンケートについては、回答者数を増やすために調査方法の改善を行う必要がある。

進路状況は概ね良好であったことから、今後もこの状況を維持するために、学修支援およびキャリア支援を継続して行うことが求められる。

4. DP 達成状況のまとめ

成績評価・成績分布の結果より、学生からの成績評価に対する信用は全体として維持されたこと、DP アンケートからは、全項目の平均値から学習到達度は十分であることが確認できた。進路・資格試験・留年・退学状況も概ね良好な結果であった。以上の結果から、本学位プログラムの実施状況は良好であるといえる。

添付資料：①「DP アンケート結果報告」

②「進路、資格試験、留年、退学状況（資料はこちらをクリック）」

③「授業実施評価レポート」

人間形成学科ディプロマ・ポリシーアンケート結果報告

1. ディプロマ・ポリシーアンケートの結果

	質問項目	平均値	標準偏差
1	入学時に比べて、今後の社会人生活に役立つ知識やスキルを身につけることができた。	4.65	0.49
2	入学時に比べて、社会の諸問題についての必要な情報を収集、分析、表現する力を身につけることができた。	4.65	0.49
3	入学時に比べて、異なる文化や価値観を尊重しながら他者と共に生きていく姿勢を身につけることができた。	4.65	0.49
4	入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学に関する専門的知識が増えた。	4.88	0.33
5	入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学における援助について理解できるようになった。	4.88	0.33
6	入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学に関する最近の話題（現代的課題）について自分なりに考えることができるようになった。	4.76	0.44
7	入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学の基礎的な知識を活かし、対応を考えることができるようになった。	4.76	0.44
8	入学時に比べて、文献を調べたり、調査・実験などを行ったりして自分の考えを適切に表現することができるようになった。	4.47	1.01
9	入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する課題をみつけ、検討することができるようになった。	4.65	0.49
10	入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学について学んだことを社会に活かしたいと思うようになった。	4.65	0.70
11	入学時に比べて、保育・幼児教育的または心理的援助の場面で倫理を意識して行動することができるようになった。	4.76	0.44
12	入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する諸問題を検討するための方法を身につけることができた。	4.76	0.44
13	入学時に比べて、様々な立場にある人々に対する心理的または保育・幼児教育的な援助のスキルを身につけることができた。	4.82	0.39
	全項目平均	4.72	

自由回答

- ・ 討論の時間が多くあったのがよかった
- ・ グループワークが多いこと
- ・ さまざまな視点から心理学について学ぶことができよかったです。
- ・ 授業の中で実際に技法を体験できたり、皆で話し合ったりすることができて、より考えが深まり楽しく学ぶことができました。
- ・ 先生との距離が近い
- ・ 先生方が親身に対応してくださいました
- ・ 先生方に相談しやすい環境が整っているように感じました。
- ・ もう少し心理実習の期間などを延ばして実習による学びを深めたかったです。
- ・ 心理の仕事が分からない実習があった。
- ・ ゼミの説明など何かと心理とこどもがまとめて招集されていたが、完全に区別して良いと感じた

2. 結果について

全項目の平均値が 4.72 で、最も低い項目でも 4.47 であることから、4 年間での学修到達度は十分に、保育・幼児教育または心理学に関する専門的知識の習得に関して高い到達度である。

本調査では 52 名中 17 名の回答しか得られなかったため、調査方法を改善する必要がある。また、自由記述の内容から、授業での学びに満足していること、教員との関係が良好であることがうかがえる一方で、心理実習に関する記述 2 つの内容については、その工夫について検討する必要があると思われる。

授業実施評価レポート

2025 年度 心理コース・こどもコース

1. 2024 年度の状況

1) 成績評価アンケート

成績評価アンケートの結果について、各項目の「なかった」の割合は、透明性：83.3%～95.2%、客観性：88.9%～95.2%、妥当性：81.5～95.2%、公平性：88.9～95.2%であり、概ね良好な結果であった。その一方、透明性に関しては3年生1名・4年生1名からは「いくつもあった」と回答があった。また、3年生では各項目で「1～2科目あった」と回答した者が3～5名見られた。

以上をふまえ、教務・共通教育部会から、3年生が1・2年次に引き続き、「1～2科目あった」と回答した者の割合が高いように思われるため、当該学年の対応方法について検討することが求められた。また、自由記述より、評価方法や試験時間に関する説明不足が推測される回答があるため、確認し検討する必要性が指摘された。

上記について、各コースで検討し、シラバスへの記載やオリエンテーション時の説明に加えて、授業中においても成績評価の方法を再度確認するなどの工夫を行うこととした。また、3年生は1・2年次に引き続き同様の傾向が見られたため、特に丁寧な説明を行う必要があることを確認した。

自由記述の意見については、担当教員に確認し、今後は評価方法や試験に関する説明を、紙資料やスライドを活用して複数回行うなど、学生にとって分かりやすい形で示すよう改善を図ることとなった。

2) 成績分布及び受講者数

受講者数が5名以下の科目について検討した結果、当該年度は履修者数が少数となることが想定される実習科目であること、既に科目廃止が決定している科目であることが確認された。

成績に「不可」が多い科目は特に見られなかった。

受講者数10名を超える科目のうち、S評価が受講者数の3分の2を超えていた科目について、2025年度から担当者変更となる科目は、当該科目の現担当者に評価基準の共有を行い、適正な成績評価の実施を依頼することとなった。また、複数学科で開講されている科目は、学科別ではなく、受講者全体で考えて評価していたことを確認した。その他の科目を含めて、改めて評価基準や評価方法を共有し、評価の適正化を図る取り組みを進めることとなった。

2. 2024 年度レポート対応プランの結果

2024年度は以下の2点について計画し、実施した。

1) 成績評価方法の説明の改善

全ての学年において、より丁寧に成績評価に関する説明や確認を行うこととしていた。また、2023年度に既に対応を行ったものの、3年生は1～2年次に引き続き、成績評価に課題があると回答した者の割合が比較的高いようだったため、特に留意して説明を行うこととしていた。

実施の結果、2024 年度においても当該学年では課題があると回答した割合が比較的高かったことから、授業初回や最終回のみならず、他の授業回においても評価方法の説明を行う必要があることを確認した。

2) 科目の必要性・妥当性の検討

成績分布及び受講者数の資料を基に、科目の必要性・妥当性について必要に応じて検討を行うこととなっていた。その結果、受講者数が比較的少ない一部の科目については、廃止することを決定した。

3. 対応プラン

1) 成績評価方法の説明のさらなる改善

全ての学年において、引き続き丁寧な説明と確認を行うこととする。2023 年度に実施した対応を継続した上で、特に 2025 年度に 4 年生になる学年は 1～3 年次に渡って成績評価に課題があると回答している者の割合が比較的高いようだったため、授業初回と最終回に加えて、必要に応じてそれ以外の授業回においても評価方法の説明を行う。

2) 新設科目における授業運営および成績評価の共有・確認

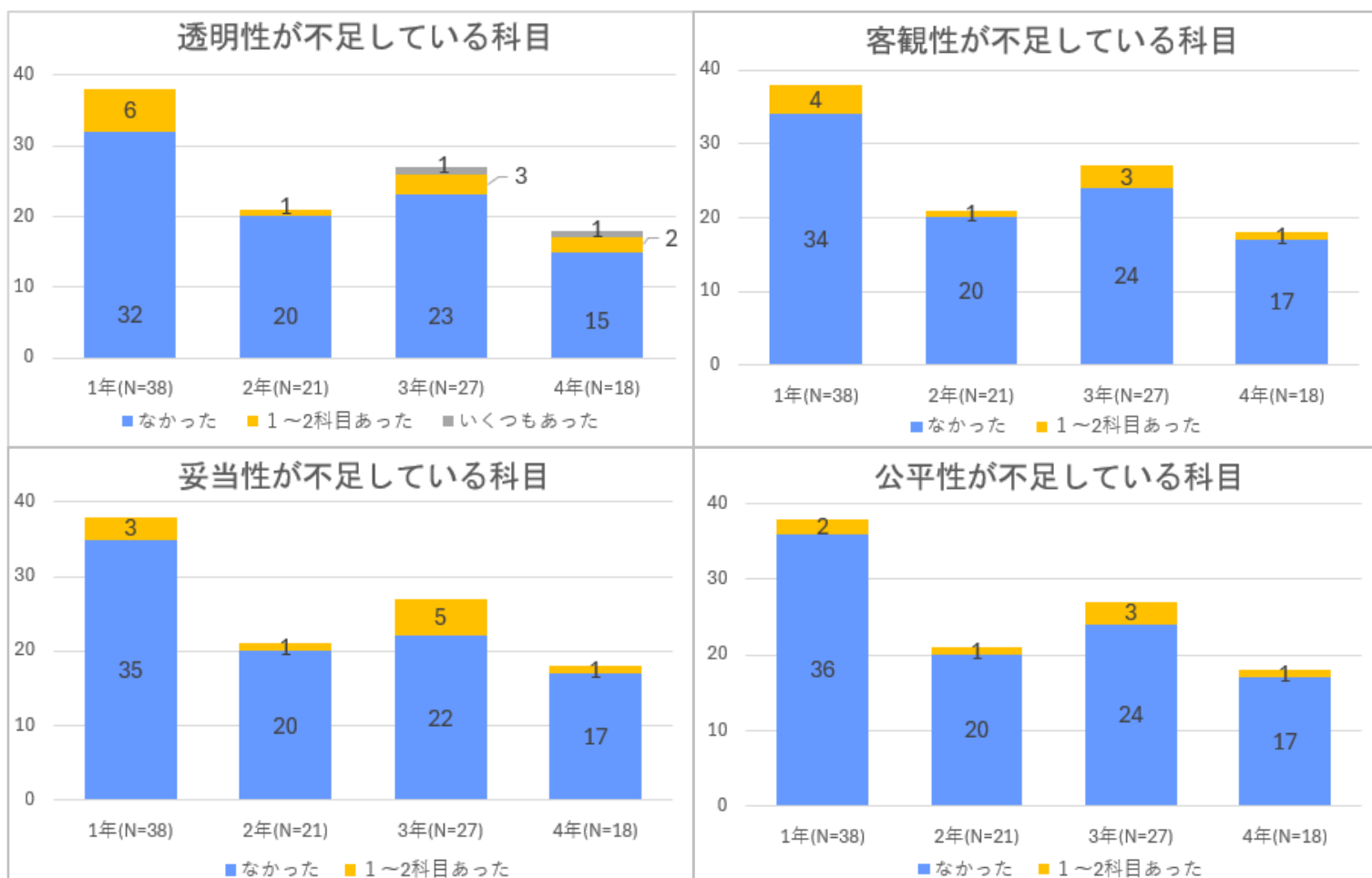
令和 7 年度より新設した特別支援教育に関する科目について、成績評価に係る基準・方法等の情報共有を行う。あわせて、各科目における成績評価のバランスや、全体との関わりについて確認を行い、必要に応じて授業運営や評価方法の在り方について検討することとする。

添付資料

- ・人間形成学科成績評価アンケート結果
- ・人間形成学科科目成績分布及び受講者数
- ・人間形成学科カリキュラムマップ
- ・カリキュラム・ツリー（心理コース、こどもコース）

人間形成学科 成績評価アンケート結果報告（2024年度）

1.成績評価アンケートの結果（専門科目）



表内の数値は人数

2.結果について

- 各項目の「なかった」の割合は、透明性：83.3%～95.2%、客観性：88.9%～95.2%、妥当性：81.5～95.2%、公平性：88.9～95.2%であり、概ね良好な結果です。その一方、透明性に関しては3年生1名・4年生1名からは「いくつもあった」と回答がありました。
- 本調査の回答者数は、1年生62名中38名、2年生55名中21名、3年生59名中27名、4年生52名中18名であったため、調査方法を改善する必要があります。
- 全体としては、成績評価の透明性・客観性・妥当性・公平性は確保されていると考えられますが、1年生と3年生は、各項目で複数名が「1～2科目あった」と回答していました。また、3年生は1・2年次に引き続き、「1～2科目あった」と回答した者の割合が高いように思われるため、当該学年の対応方法についてご検討ください。また、下記3に示す自由記述では、評価方法や、試験時間に関する説明不足が推測されるものについての指摘がありました。ご確認の上、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

人間形成学科 専門教育科目および関連科目 受講者数及び成績結果状況報告

2024年度の人間形成学科専門教育科目および関連科目の受講者数及び成績結果をお知らせします。

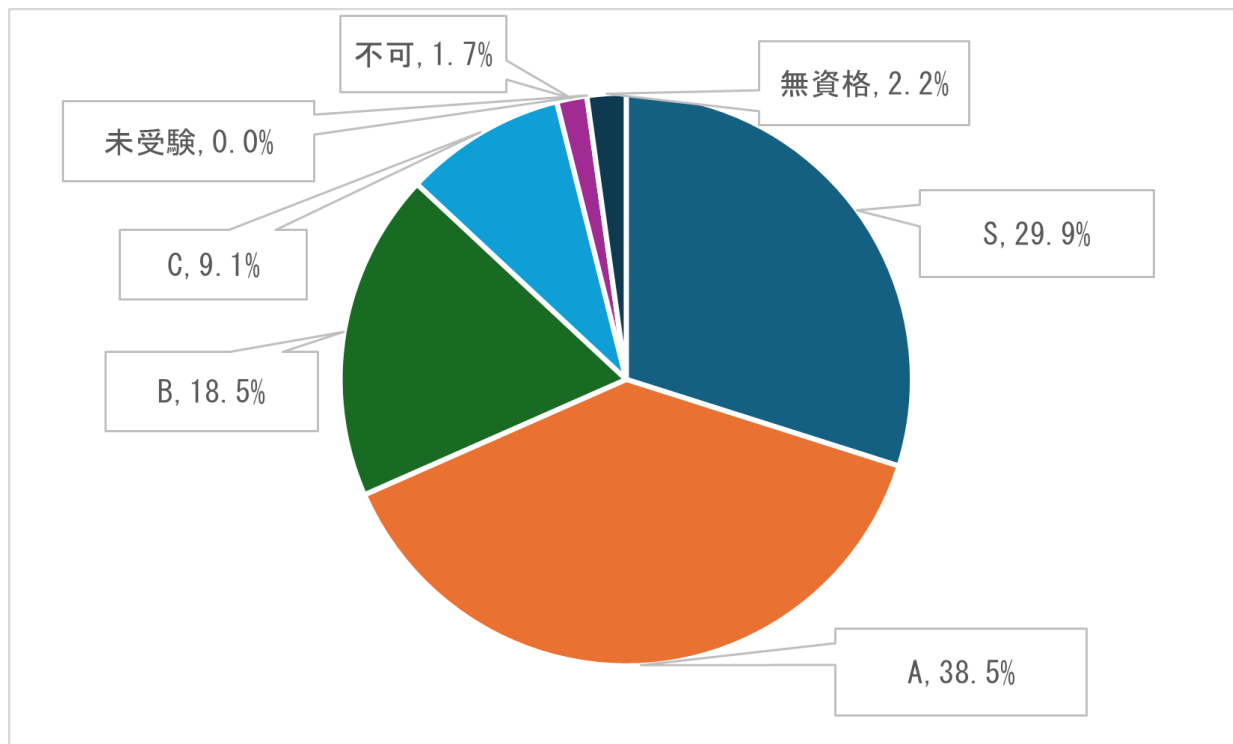
結果について

1. 受講者が5名以下の科目は、「社会福祉Ⅱ（0名）」、「保育実習Ⅱ-A（5名）」「保育実習指導Ⅱ-A（5名）」「社会教育特講B（2名）」「社会教育特講C（5名）」「社会教育特講E（5名）」でした。以上の科目の履修状況について、学科で検討を行ってください。
2. 成績に「不可」が多い科目は特にありませんでした。参考までに「不可」が受講者数の1割を超えていた科目は、「保健医療福祉の法と制度（109名中19名）」の1科目だったことを報告します。
3. 受講者数10名を超える科目において、S評価が受講者数の3分の2を超えていた科目（演習・実習科目を除く）は「子ども家庭福祉（100% 13名/13名）」「社会的養護Ⅱ（73.3% 11名/15名）」の3科目でした。評価方法や成績評価方針について確認をしてください。

※本コメントは、問題点を指摘するものではありません。問題がないかを確認し、問題がない場合はこれで妥当であることを説明できるようにしてください。改善すべき点が見出された場合には、具体的な対策を立てられてください。

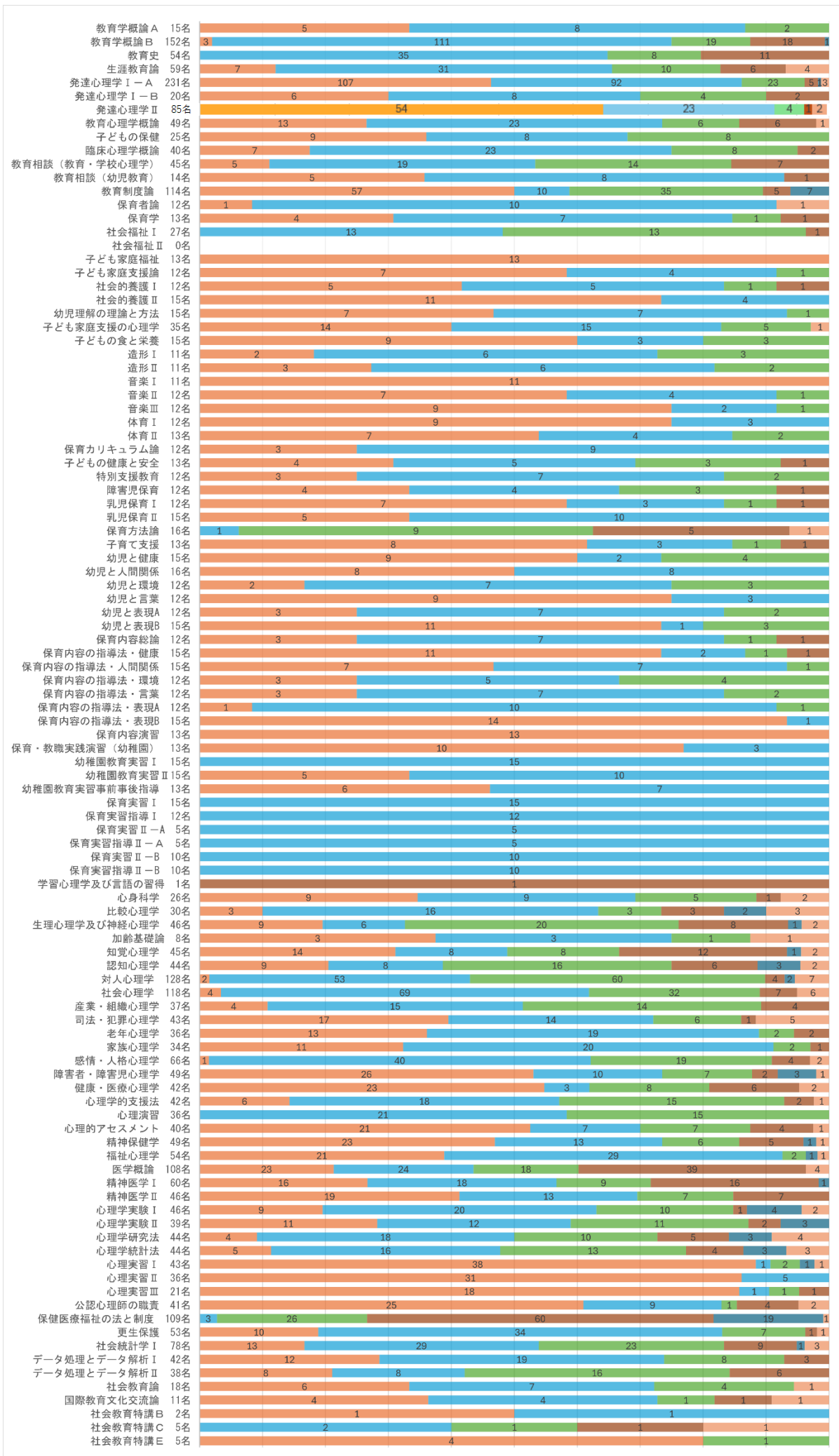
（添付資料）

1. 2024年度学科別成績分布



2. 各授業の成績分布

■ S
 ■ A
 ■ B
 ■ C
 ■ 不可
 ■ 未受験
 ■ 無資格



人間形成学科 カリキュラムマップ

別表第6 人間形成学科専門教育科目

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開 講 時 期 (標 準 履 修 年 次)				備 考	DP1	DP2	DP3	DP4
		必 修	選 択		1年次	2年次	3年次	4年次					
基 幹 科 目 * 1	教育学概論A		2	講義	2				2科目いずれか選択必修 Aは保育士・幼免必修	○			
	教育学概論B		2	講義	2					○			
	教育史	2		講義		2				○			
	生涯教育論	2		講義		2				○			
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2					○			
	発達心理学Ⅰ-B		2	講義	2				保育士・幼免必修	○			
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2				公認心理師必修	○			
	教育心理学概論(教育・学校心理学)		2	講義		2			公認心理師必修	○			
	子どもの保健		2	講義	2				保育士必修	○			
	臨床心理学概論		2	講義			2		公認心理師必修	○			
	教育相談(教育・学校心理学)		2	講義				2	公認心理師必修	○			
	教育相談(幼児教育)		2	講義				2	幼免必修	○			
	教育制度論(関係行政論)		2	講義			2		幼免・公認心理師必修	○			
展 開 科 目 (こどもコース)	保育者論		2	講義	2					○			
	保育学		2	講義		2				○			
	社会福祉Ⅰ		2	講義	2					○			
	社会福祉Ⅱ		2	講義				2		○		○	
	子ども家庭福祉		2	講義		2				○			
	子ども家庭支援論		2	講義		2				○	○		
	社会的養護Ⅰ		2	講義		2				○			
	子ども家庭支援の心理学		2	講義		2				○			
	幼児理解の理論と方法		2	☆演習			2		* 2	○	○		
	子どもの食と栄養		2	演習			2		* 2	○	○	○	
	造形Ⅰ		1	演習	1				* 2		○		
	造形Ⅱ		1	演習	1				* 2		○		
	音楽Ⅰ		2	演習	2				* 2		○		
	音楽Ⅱ		1	演習		1			* 2		○		
	音楽Ⅲ		1	演習		1			* 2		○		
	体育Ⅰ		1	演習		1					○		
	体育Ⅱ		1	演習			1				○		
	保育カリキュラム論		2	講義		2				○	○		
	子どもの健康と安全		1	演習		1			* 2	○	○		
	特別支援教育		1	演習		1				○	○	○	
	障害児保育		2	☆演習		2				○	○	○	○
	乳児保育Ⅰ		2	講義		2				○			
	乳児保育Ⅱ		1	演習			1		* 2	○	○		
	保育方法論		2	講義			2			○			
	社会的養護Ⅱ		1	演習			1		* 2	○	○	○	
	子育て支援		1	演習				1	* 2	○	○		
	保育内容総論		2	☆演習		2			* 2	○	○	○	
	幼児と健康		1	演習			1		* 2	○	○		
	幼児と人間関係		1	演習			1		* 2	○	○		
	幼児と環境		1	演習		1			* 2	○	○		
幼児と言葉		1	演習		1			* 2	○	○			
幼児と表現A		1	演習		1			* 2	○	○			
幼児と表現B		1	演習			1		* 2	○	○			
保育内容の指導法・健康		1	演習			1		* 2	○	○	○		
保育内容の指導法・人間関係		1	演習			1		* 2	○	○	○		
保育内容の指導法・環境		1	演習		1			* 2	○	○	○		

	保育内容の指導法・言葉	1	演習	1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現A	1	演習	1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現B	1	演習	1		* 2	○	○	○	
	保育内容演習	2	☆演習		2	* 2	○	○	○	○
	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	☆演習		2	* 2		○		○
	幼稚園教育実習事前事後指導	1	実習		1	* 2		○	○	
	幼稚園教育実習Ⅰ	2	実習		2	* 2		○		○
	幼稚園教育実習Ⅱ	2	実習		2	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅰ	2	演習	2		* 2		○	○	
	保育実習Ⅰ	4	実習		4	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-A	1	演習		1	* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-A	2	実習		2	* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-B	1	演習		1	* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-B	2	実習		2	* 2		○		○
心理 コース	学習心理学及び言語の習得（学習・言語心理学）	2	講義	2			○			
	心身科学	2	講義	2			○			
	比較心理学	2	講義	2			○			
	生理心理学及び神経心理学（神経・生理心理学）	2	講義	2			○			
	加齢基礎論	2	講義	2			○			
	知覚心理学（知覚・認知心理学）	2	講義		2		○			
	認知心理学（知覚・認知心理学）	2	講義		2		○			
	対人心理学	2	講義	2			○			
	社会心理学（社会・集団・家族心理学）	2	講義	2			○			
	産業・組織心理学	2	講義		2		○			
	司法・犯罪心理学	2	講義		2		○			
	老年心理学	2	講義		2		○			
	家族心理学（社会・集団・家族心理学）	2	講義		2		○			
	感情・人格心理学	2	講義	2			○			
	障害者・障害児心理学	2	講義		2		○			
	健康・医療心理学	2	講義		2		○			
	心理学的支援法	2	講義	2			* 3	○		
	心理演習	2	☆演習		2		* 3 演習時間：22.5時間		○	○
	心理的アセスメント	2	☆演習		2		* 3		○	○
	精神保健学	2	講義	2			社会福祉学科の精神保健学Ⅰと共通	○		
	福祉心理学	2	講義	2				○		
	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	2	講義	2			社会福祉学科の「医学概論」と共通	○		
	老年期医学	2	講義		2			○		
	精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療Ⅰ）	2	講義		2		社会福祉学科の「精神医学Ⅰ」と共通	○		
	精神医学Ⅱ（精神疾患とその治療Ⅱ）	2	講義		2		社会福祉学科の「精神医学Ⅱ」と共通	○		
	心理学実験Ⅰ	2	☆演習	2			* 3		○	○
	心理学実験Ⅱ	2	☆演習	2			* 3		○	○
	心理学研究法	2	講義	2				○		
	心理学統計法	2	講義	2				○		
	心理実習Ⅰ	1	実習	1			* 3 実習時間：30時間		○	○
	心理実習Ⅱ	1	実習		1		* 3 実習時間：30時間		○	○
	心理実習Ⅲ	1	実習		1		* 3 実習時間：30時間		○	○
公認心理師の職責	2	講義	2			* 3	○			
保健医療福祉の法と制度（関係行政論）	1	講義		1		看護学科の「保健医療福祉の法と制度」と共通	○			
更生保護（関係行政論）	2	講義		2		社会福祉学科の「更生保護」と共通	○			
人的資源管理論（関係行政論）	2	講義	2			* 4 総合人間社会コースの「人的資源管理論」と共通	○			
社会統計学Ⅰ	2	講義	2				○			
データ処理とデータ解析Ⅰ	1	演習		1		* 4		○	○	
データ処理とデータ解析Ⅱ	1	演習		1		* 4		○	○	
社会教育論	2	講義		2			○			
図書館情報学	2	講義		(2)	2	非開講	○			
国際教育文化交流論	2	講義		2			○			
社会教育特講A	2	講義	2			非開講	○			
社会教育特講B	2	講義		2			○			
社会教育特講C	2	講義		2			○			
社会教育特講D	2	講義	2				○			
社会教育特講E	2	講義		2			○			
キャリア論	2	講義		2		* 4	○			
情報数学	2	講義		2		* 4	○			

関連科目	Webデザイン演習	1	演習	1		* 4		○		
	プログラミング概論	2	講義	2		* 4	○			
	情報ネットワーク論	2	講義	2		* 4	○			
	情報ネットワーク演習	1	演習	1		* 4		○		
	データベース論	2	講義	2		* 4	○			
	マルチメディア論	2	講義	2		* 4	○			
	プログラミング演習	1	演習		1	* 4		○		
	情報検索システム論	2	講義		2	* 4	○			
	地理情報システム論	2	講義		2	* 4	○			
	問題解決演習	1	演習	1		* 4		○		
	組織マネジメント	2	講義		2	* 4	○			
	ビジネス倫理	2	講義		2	* 4	○			
	個人情報法制	2	講義		2	* 4	○			
	演習	2		演習		2			○	○
卒業論文	6		演習		6			○	○	○

- 注1：授業方法欄の「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。
- 2：「* 1」の基幹科目は必修科目6単位および選択必修科目2単位を含み、合計18単位の修得を卒業要件とする。
- 3：「* 2」はこどもコース、「* 3」は心理コースの学生のみ履修できる科目。
- 4：「* 4」は総合人間社会コースの科目。

2024年度 カリキュラム・ツリー (心理コース)

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
心理専門科目	心のしくみを知る	学習・知覚			学習心理学...		知覚心理学... 認知心理学...		
		生理			心身科学 比較心理学	生理心理学... 加齢基礎論			
	心を支える	発達・教育	発達心理学 I-A 発達心理学 I-B	発達心理学 II		教育心理学概論...	老年心理学		
		臨床			障害者・障害児 心理学 司法・犯罪心理学 心理実習 I	公認心理師の職責 健康・医療心理学 心理実習 I 心理学的支援法	臨床心理学概論 心理実習 II	心理演習 心理的アセスメント 心理実習 III	教育相談... 教育相談 (幼児教育) 心理実習 III
		医学・保健	精神保健学	医学概論... 福祉心理学			精神医学 I	精神医学 II	
	人と関わる	社会・産業	対人心理学	社会心理学...			産業・組織心理 学	家族心理学...	
	心理学の基礎を 学ぶ	基礎知識	心理学概論	感情・人格心理学					
		研究法・統計			心理学統計法 社会統計学 I	心理学研究法	データ処理と データ解析 I	データ処理と データ解析 II	
		実験・演習			心理学実験 I	心理学実験 II	演習 (ゼミ)		卒業論文
隣接領域科目	いろいろな見方・ 考え方を学ぶ	学科基幹科目 (心理専門科目 以外)	教育学概論 B	子どもの保健	教育史	生涯教育論		教育制度論...	
		学科展開科目 学科関連科目	社会福祉 I	社会教育特講 D	障害児保育 子ども家庭福祉 乳児保育 I	社会教育論 社会教育特講 E 人的資源管理論 保健医療福祉の法 と制度...	社会教育特講 B	更生保護... 子ども家庭支援論 キャリア論 社会教育特講 C	社会福祉 II
		他学科開設科目 両学部で学ぶ 専門的連携科目	社会福祉学概論 I 不登校・ひきこ もり援助論 社会調査法	社会福祉学概論 II 子供学習支援論	社会病理学 家族社会学 A	家族社会学 B			
基礎科目：学ぶ基礎づくり		基盤教育科目	人文科学・社会科学・自然科学・総合科目・外国語 (必須/選択)・情報処理・健康科学・基礎ゼミ						

2024年度 カリキュラム・ツリー (こどもコース)

	1年次	2年次	3年次	4年次
保育・教育の 基礎的理解	発達・支援 方法の理解 ■発達心理学 I-A ●発達心理学 I-B ■発達心理学 II ■子どもの保健	■子ども家庭支援の心理学	■子どもの食と栄養 ◆幼児理解の理論と方法 ■臨床心理学概論	◆教育相談 (幼児教育)
	保育・教育 の基礎知識 教育学概論A ●保育者論 ■社会福祉 I	教育史 ◆生涯教育論 ●保育学 ■子ども家庭福祉 ■子ども家庭支援論 ■社会的養護 I	◆教育制度論 (関係行政論)	■社会福祉 II
保育内容 保育方法	保育内容 (基礎技術) ●音楽 I ●造形 I ●造形 II	●音楽 II ●体育 I	●音楽 III ●体育 II	
	保育方法 ●保育カリキュラム論 ■子どもの健康と安全 ■乳児保育 I ◆特別支援教育 ■障害児保育	●保育方法論 ■社会的養護 II ■乳児保育 II	■子育て支援	
	保育内容 (領域と指導法) ●保育内容総論 ●幼児と環境 ●幼児と言葉 ●幼児と表現A ●保育内容の指導法・環境 ●保育内容の指導法・言葉 ●保育内容の指導法・表現A	●幼児と健康 ●幼児と人間関係 ●幼児と表現B ●保育内容の指導法・健康 ●保育内容の指導法・人間関係 ●保育内容の指導法・表現B	●保育内容演習	
研究		ゼミ (卒業論文)	演習	卒業論文
教養	人文科学・社会科学・自然科学・複合領域 外国語 (必須/選択) 情報処理・健康科学・基礎ゼミ 等			
主な 学修内容	教養科目＋ 保育・教育の基礎＋ 基礎技術 (音楽・造形)	教養科目＋ 保育・教育の基礎＋ 保育の方法と内容	保育・教育の基礎＋ 保育の方法と内容＋ 実習＋演習 (ゼミ)	保育・教育の支援法＋ 保育・教育の総合演習＋ 卒業論文 (ゼミ)

学科基幹科目 (下線)
 ■保育士資格科目
 ◆幼稚園教諭免許科目
 ●保育士資格・幼稚園教諭免許共通科目

3年6月 保育実習 I (保育所)
 3年8～9月 保育実習 I (施設)
 3年10～11月 幼稚園教育実習 I
 3年2～3月 幼稚園教育実習 II
 3年3月 保育実習 II-A (保育所)
 または保育実習 II-B (施設)